

= 普及情報 =

No. 27

令和6年12月26日

西部農林水産振興センター益田事務所農業部

標題	益田地域で初めて「美味しまね認証品フェア」を開催！
----	---------------------------

(ダイジェスト)

美味しまね認証制度を消費者に理解してもらい、生産者が丹精込めて生産した「美味しまね認証品」を広く消費者にPRするために、島根県GAP生産者協議会益田支部が初めて「美味しまね認証品フェア」を開催しました。

生産者・消費者ともに好評で、今後も開催する予定にしています。

益田地域（益田市・津和野町・吉賀町）の美味しまね認証数は、昨年度末時点で101件と県内最多を誇り、同認証を取得した生産者で「島根県GAP生産者協議会益田支部（代表：農事組合法人横尾衛門 谷本大輔）」を組織しています。しかしながら、その丹精込めて生産された美味しまね認証品を組織的にPRし、消費拡大につなげる活動はしていませんでした。

そこで、去る11月26日、同協議会益田支部は、株式会社キヌヤと協力して、キヌヤ益田ショッピングセンター（キヌヤSC）で初めての美味しまね認証品フェアを開催しました。

当日は、8生産者から12品目の出品があり、認証品を試食宣伝しながら対面販売しました。キヌヤSC8周年祭に併せて開催した効果もあって、レジ通過数は2,330件と多くの来店客でにぎわいました。来店者へのアンケート調査では、初めて美味しまね認証を知ったという方が36%と高かったことから、美味しまね認証品をPRする絶好の機会となりました。

このほか、さらなる認知度向上のためには「ポップなどの掲示物を増やす」「商品に認証マークを貼る」「フェアの回数を増やす」ことが有効との声が多く寄せられました。また、安心安全・地元産・新鮮な農産物を特に求めていることも分かりました。

同協議会益田支部は、フェアが好評だったこともあり、来年度も引き続き計画するとのことです。

今回、農業部としては、フェアがスムーズに運営できるよう、産地支援課と協力して調整を行いました。今後も同協議会益田支部への支援等を通じて、美味しまね認証品をPRしていきます。

